



メガロザ番外公演

居酒屋演劇

「ステージのない猿芝居」

～客も演者、演者も客～

脚本/演出 目黒貴之

6月30日 新宿 居酒屋みくに丸

脚本/演出 目黒貴之

そこに愛は実在していたのか？



生野和人
(ハンザキ/アシカビ)



植田古本
(蜜)



関口真弓



倉垣まどか



鈴木真

ステージは居酒屋の客席。
そこには客席とステージの隔てがない。
演者は客席で演じ、客はステージ上で
演者と一緒に居ることになる。
演者は酒を飲みながら芝居をし
客は酒を飲みながら芝居を観る。
時折、芝居に絡み込んでくる居酒屋の大将。
途端、芝居をしているのは
本当は誰なのかわからなくなる。
わかっているのは
ここは居酒屋みくに丸である
ということだけだ。

メガロザ番外公演

居酒屋演劇「ステージのない猿芝居」

この脚本は目黒の先輩俳優が新宿三丁目にある居酒屋みくに丸で芝居を打ちたいと言ったことにより書き下ろした脚本である。

客層はあまり普段から芝居に触れたことのない人達になるので、わかりやすい内容で簡単な舞台設定でとの要望だった。

脚本執筆会議を飲みながら何度も重ね書いた脚本がこの脚本だ。

わかりやすすぎる、普通だ、もっと目黒らしい脚本が欲しい。そう言われ、お蔵入りする。

しかし、目黒はこの脚本は居酒屋みくに丸でやるには最適だと考えている。

なんとかならないものかと思案した挙句、「そうだ。自分でやればいいんだ」という考えに落ち着いた。

どうしても捨て切れなかった芝居を自分で打つという目黒の猿芝居にどうか乗ってやってください。

目黒貴之

公演日 2019年6月30日(日)

公演時間

①15:00開演 14:30 開場

②18:00開演 17:30 開場

チケット 前売/当日 ¥2,000-
※ワンドリンク付き
(ビール/ハイボール/チューハイ/ウーロン茶)

チケット予約フォーム



<https://www.quartet-online.net/ticket/mikunimaru2019>

※打ち上げ

18時公演の終演後

会場で観客の皆様を交え「打ち上げ」を行います。

出演する役者も参加いたしますので

是非、役者ともご歓談ください。

料金 ¥2,000- (料理付き・飲み放題)

出演

生野和人 (ハンザキ/アシカビ)

植田古本 (蜜)

関口真弓

倉垣まどか

鈴木真

大庭吉裕

脚本/演出

目黒貴之

演出助手

渋谷優史

プロデューサー

梶田倫之

協力

内田正憲

猫のホテル

企画・製作

メガロザ会

メガロザ プロフィール

1999年5月 目黒貴之と

石井進(現 ラ・サブリメント・ピバ)を中心に結成。

初期は「脱力系エンターテイメント」と銘打ち

主にコント公演を行う。

活動休止の時期を経て作風を「毒ポップ」に変え

若者の心の痛み、闇(病み)を笑いに転化し

観る者の心をえぐる長編物を2013年まで発表。

2018年9月には目黒の舞台生活20周年を

記念し目黒自らが受付から音響照明まで

全て1人でこなす「ひとりメガロザ」公演を行った。

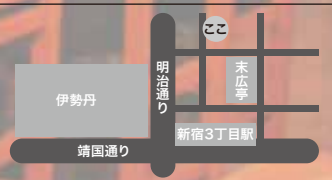
2019年冬には劇団旗揚げ20周年記念公演を

予定している。

会場

廻船呑屋 第21みくに丸

東京都新宿区新宿3-12-3 3階
新宿三丁目駅から徒歩174m



お問い合わせ megaroza@icloud.com

公演情報の詳細 megaroza.com